

観光甲子園

青商準グランプリ

台湾からの誘客案評価

全国の高校生が観光プランを競う「観光甲子園」の本選が24日、神戸夙川学院大学（兵庫）で行われ、県勢として初めて出場した青森商業高校は準グランプリの兵庫県知事賞に輝いた。北海道新幹線開業をチャンスと捉え、函館を訪れる台湾人観光客の誘客を目指した点が評価された。

（太田佳希）

本選には全国69校1 ばれた10校が出場し、「行った。31プランの中から選」プレゼンテーションを」同校は、函館との定



観光甲子園で準グランプリに輝いた青森商業高校の（左から）川口さん、葛西さん、西村さん、工藤さん

期航空便を利用する台湾人観光客をターゲットに、八甲田の樹氷見学など冬の青森市ならではの魅力を満喫できる観光プランを紹介。商業研究部2年の葛西理乃さん、川口ゆかりさん、工藤美咲さん、西村麻衣さんが、緊張しながらも笑顔で堂々と発表した。

説明役の葛西さんは「今まで頑張ってきたので、準グランプリに選ばれてうれしい。プラン作りに協力してくれたたくさんの人たちに報告し、感謝を伝えたい」と語った。

また、本選に進めなかった同校のもう一つのプランも、20位以内に当たる特別賞の旅行

新聞新社社長賞を受賞品にはない、若い女性に向けた。美容と健康をテーマに、既存の観光商た。

東奥日報 2014年8月25日掲載

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです